

令和7年度
当初予算・重点政策

一般会計は合併後2番目の規模の250億6000万円

引き続き人口減少・少子化対策に重点を置いた政策を展開

市総合計画の目指すべき将来像の実現に向けて、「人口減少・少子化対策」を最重要課題と捉え、4本の柱を軸とした政策を展開するための予算を計上しました。

重点政策の1つ目である「若者・女性が住みやすく、子育てしやすいまちの実現」では、コンパクトで若者が住みたくなる街並みづくりを進める常陸大宮駅周辺整備事業において、東西自由通路や駅西交流拠点整備に取り組むとともに、子育て世帯の移住・定住促進を目的とした、子育て世帯向け住宅（地域優良賃貸住宅）の建設に着手します。

2つ目の「高齢者の活躍、生きがいづくりの推進」では、高齢者の生きがいと健康づくりにつながる拠点として、道の駅常陸大宮周辺にグラウンドゴルフ場を整備するほか、市民の移動手段の確保や外出機会の創出のため、公共ライドシェアの実証運行を開始します。

3つ目の「学力向上にコミットする教育の推進」では、学習活動支援教職員を配置し、複式学級を解消することで、よりきめ細かな学習活動を実施し、学力の向上を図るほか、国際的視野と感覚を育成するための、中学生英語体験事業にも引き続き取り組みます。

4つ目の「観光を軸とした地域振興」では、やすらぎの里公園ブラッシュアップ推進事業に取り組んでいくほか、御前山ダム周辺活性化事業では、ダム湖面を効果的に活用するため、カヌー発着所の整備を引き続き進めるとともに、御前山ダムを中心に広がる豊富な観光資源の活性化を図ります。

そのほか特別会計は、合計で109億4,840万円（前年度比0.3%増）、上水道事業会計は、24億670万円（前年度比1.3%増）、下水道事業は、23億2,520万円（前年度比1.9%増）となり、全会計予算の総額は、407億4,030万円（前年度比0.8%増）となりました。

■会計別予算額				(単位：千円、％)	
会計名		令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
一般会計		25,060,000	24,850,000	210,000	0.8
特別会計		10,948,400	10,919,700	28,700	0.3
国民健康保険 特別会計	事業勘定	4,634,000	4,682,000	△ 48,000	△ 1.0
	診療施設勘定	168,000	170,000	△ 2,000	△ 1.2
公営墓地特別会計		25,400	25,300	100	0.4
介護保険特別会計		5,285,000	5,276,000	9,000	0.2
温泉事業特別会計		110,000	109,400	600	0.5
後期高齢者医療特別会計		726,000	657,000	69,000	10.5
上水道 事業会計	収益の支出	1,405,900	1,359,600	46,300	3.4
	資本の支出	1,000,800	1,016,200	△ 15,400	△ 1.5
下水道 事業会計	収益の支出	1,193,700	1,179,400	14,300	1.2
	資本の支出	1,131,500	1,103,200	28,300	2.6
合計		40,740,300	40,428,100	312,200	0.8

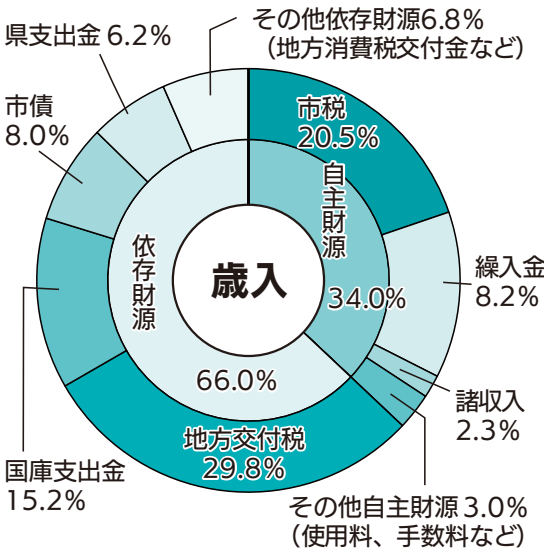
表中の△はマイナスを表しています。



一般会計【歳入】

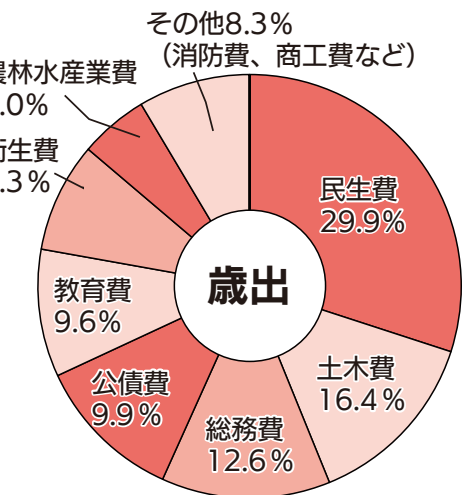
歳入予算財源別内訳				(単位：千円)
科目		令和7年度	令和6年度	増減額
自主財源	市税	5,144,781	4,913,573	231,208
	繰入金	2,052,953	3,156,361	△ 1,103,408
	諸収入	569,638	434,209	135,429
	その他※ ¹	766,607	700,583	66,024
	計	8,533,979	9,204,726	△ 670,747
依存財源	地方交付税	7,470,000	7,370,000	100,000
	国庫支出金	3,798,197	3,242,300	555,897
	市債	2,019,300	1,880,800	138,500
	県支出金	1,558,238	1,515,000	43,238
	その他※ ²	1,680,286	1,637,174	43,112
	計	16,526,021	15,645,274	880,747

※¹ 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金
※² 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金



一般会計【歳出】

歳出予算科目別内訳 (単位：千円)			
科目	令和7年度	令和6年度	増減額
1. 議会費	188,017	193,544	△ 5,527
2. 総務費	3,165,310	3,205,967	△ 40,657
3. 民生費	7,479,581	7,454,951	24,630
4. 衛生費	2,082,184	2,087,467	△ 5,283
5. 労働費	6,872	7,661	△ 789
6. 農林水産業費	1,251,933	1,302,343	△ 50,410
7. 商工費	514,212	570,808	△ 56,596
8. 土木費	4,116,877	3,440,381	676,496
9. 消防費	1,166,831	1,085,191	81,640
10. 教育費	2,415,889	2,418,323	△ 2,434
11. 災害復旧費	1	1	0
12. 公債費	2,493,704	2,815,331	△ 321,627
13. 諸支出金	128,589	218,032	△ 89,443
14. 予備費	50,000	50,000	0
合計	25,060,000	24,850,000	210,000



- [用語解説]
- 総務費…戸籍管理、税金の徴収や選挙など市役所の全般的な事務にかかる費用
 - 民生費…高齢者や障害者、児童などの福祉全般にかかる費用
 - 衛生費…予防接種や健康診査、ごみ処理などにかかる費用
 - 農林水産業費…農業や畜産業、林業などの振興にかかる費用
 - 商工費…商工業の振興、観光振興などにかかる費用
 - 土木費…道路、河川、公園、市営住宅などの整備・管理にかかる費用
 - 消防費…消防・救急活動、災害対策などにかかる費用
 - 教育費…小・中学校、公民館、図書館など教育全般にかかる費用
 - 公債費…市が借りたお金の返済金

当初予算 一般会計	市民1人 あたりの予算 661,895円 (642,717円)	1世帯 あたりの予算 1,435,610円 (1,419,108円)	令和7年1月1日現在 住基人口 37,861人 世帯数 17,456世帯 ()内は前年度金額

令和7年度 常陸大宮市 重点政策

市政運営の方針である「総合計画」で定める目指すべき将来像の実現に向け、その年に重点的に行う施策を定めています。令和7年度は、令和6年度に引き続き、人口減少・少子化対策を最重要課題と捉え、4つの政策の柱を重点的に展開していきます。



重点政策1 若者・女性が住みやすく、子育てしやすいまちの実現

事業名	事業の概要	予算事業費 (単位：千円)
常陸大宮駅周辺整備事業 継続	JR常陸大宮駅東西自由通路及び駅西交流拠点等を整備する。	2,012,223
子育て世帯向け住宅整備 事業 継続	人口減少対策として、子育て世帯の移住・定住を促進するため、子育て世帯向け住宅（地域優良賃貸住宅）を整備する。	322,902
移住・定住促進事業 拡充	市の魅力や移住・定住に関する情報発信、相談・支援の充実を図るほか、本市出身の若者のUターン等を促進するため、「U-29（29歳以下）Uターン就職支援金」制度（総額50万円）を創設する。	81,719
児童育成支援拠点事業 新規	養育環境に課題を抱え、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、居場所となる場を開設し、生活環境の形成や学習のサポート等を行うとともに、包括的な支援を提供することで虐待を防止し、子供の将来的・長期的な利益の保証と健全な育成を図る。	27,064
不妊治療・不育症検査助成 事業 継続	特定不妊治療等の自己負担額の全額助成及び保険適用外の不育症検査費用の助成（上限15万円）を行う。	13,600

重点政策2 高齢者の活躍、生きがいの推進

事業名	事業の概要	予算事業費 (単位：千円)
公共ライドシェア実証運行 事業 新規	交通空白の解消を図り、市民等の移動手段の確保や外出機会を創出するため、一般ドライバーを活用した自家用有償旅客運送として「公共ライドシェア」の実証運行を行う。	30,045
道の駅常陸大宮周辺整備事業（グラウンドゴルフ場整備） 継続	道の駅常陸大宮における平日の集客力の向上を図るとともに、高齢者などが元気にいつまでも生活できるよう、生きがいと健康づくりにつながる拠点として、道の駅の南部エリアにグラウンドゴルフ場を整備する。	19,125

重点政策3 学力向上にコミットする教育の推進

事業名	事業の概要	予算事業費 (単位：千円)
未来の学びを支えるエデュケーション推進事業 継続	複式学級を編制する学校に、担任とは別に市費教職員を配置し、主要教科を学年別で授業を行う環境とすることで、よりきめ細やかな学習活動の実施や担任となった教職員の負担軽減を図る。	24,937
「確かな学力」育成プロジェクト事業 継続	児童生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、児童生徒の確かな学力の定着・向上を図る。	15,625
中学生英語体験事業 継続	国際的視野の拡大と国際感覚を身につけるため、中学3年生を対象に海外研修を実施する。	40,642

重点政策4 観光を軸とした地域振興

事業名	事業の概要	予算事業費 (単位：千円)
やすらぎの里公園ブラッシュアップ推進事業 新規	民間事業者と連携して施設のブラッシュアップを検討し、既存施設を充実させることで観光機能の強化を図る。	21,480
御前山ダム周辺活性化 事業 継続	御前山ダム湖面を活用したアクティビティ体験イベントやカヌー発着場等の整備に取り組む。	55,687
観光振興事業 拡充	各種祭りを支援することで観光誘客を図るとともに、新たに「一般財団法人常陸大宮市観光物産協会」を立ち上げ、当該協会が観光DMOの機能や地域商社機能を発揮して、観光物産施策を進めることにより、地域の稼ぐ力を向上させ、域外から人や外貨を呼び込む。	45,591
パークアルカディアブラッシュアップ推進事業 継続	民間事業者により一部整備・運営がされているパークアルカディアにおいて、官民連携の効果をさらに高めるため、豊かな自然環境を活用した施設のブラッシュアップを行い、さらなる魅力向上を図る。	8,459